

小学校再編に関する教育委員会等との意見交換会

主催	横田小学校区別協議会
期日	令和4年1月19日(水)
開会	19時00分
閉会	20時45分
会場	横田コミュニティセンター 大ホール
出席者	幼稚園・小学校保護者 3名
	地域住民 24名
	横田小学校区別協議会 9名
	奥出雲町職員・奥出雲町議会議員 14名

1. 開会挨拶

☑藤原会長

本日はお忙しい中お越しいただきありがとうございます。

教育委員会との貴重な意見交換会の場であり、保護者と地域の方々の意見を交えながら今後の方針を決める議論を深める場としたい。

☑勝田町長

本日はお忙しい中ご参加いただきありがとうございます。

昨年5月の小学校区別代表者会議において、町としては子どもたちが学びあうために機会を確保するために小学校再編を提案し、各地区に意向のとりまとめをお願いした。

協議会の皆さんには保護者の方を中心に幅広く意見交換をしていただき、また運営のために多くの時間を割いていただき感謝している。

今日は事前の質問書に町・教育委員会から回答するので、それをもとに忌憚のない議論をしていただきたい。

☑出席者紹介

奥出雲町 勝田町長

奥出雲町 藤原副町長

お忙しいところご参加いただきありがとうございます。

奥出雲町 松田教育長

校区別協議会、地域住民の皆様にご迷惑をおかけしていることにお詫びする。

この意見交換会で議論を深めて欲しい。

奥出雲町教育委員会 福田委員

今の子どもたちにとって何が一番必要か議論する場として欲しい。

奥出雲町教育委員会 荒金委員

奥出雲町教育魅力課 永瀬課長

奥出雲町教育魅力課 長谷川課長補佐

奥出雲町地域づくり推進課 渡部課長補佐

奥出雲町教育魅力課 藤原

2. 協議会より説明

☑写真撮影及び発刊物への掲載承認伺い

参加者 【 異議なし 】

☑横田小学校区別協議会のこれまでの活動内容等

説明者 大貫副会長

説明資料「これまでの活動内容等」に沿って説明

以下、説明資料補足及び大貫所感

- ・本日の会に先立ち保護者に欠席の場合横田小学校区別協議会に再編に対する結論を一任することを確認している。
- ・大貫自身が、塾講師として感じる課題を含めて子どもたちの教育環境をより良くしたい。
- ・今後も地域の皆さんと教育について語るような場が欲しいと思っている。
- ・開かれた協議会を目指したが参加者が少なかったことが非常に残念である。
- ・保護者、地域住民とも積極的な議論参加を希望する。
- ・尾方自治会長会副会長を中心に各自治会意見集約等に協力してくださったことに感謝する。
- ・奥出雲町に対して協議会への支援体制及び議論の進め方等多くの不満があるのは事実である。
- ・地域住民からも同様の意見が多く寄せられた。
- ・奥出雲町議会議員も議員特別委員会設置まで動きが鈍かったことに対して不満があるのは事実である。
- ・奥出雲町、奥出雲町議会ともに今年度の残りの期間含め、来年度以降、小学校再編に関する議論への支援体制を充実させる等、真摯な対応を希望する。
- ・保護者は無関心な方が多かったことが非常に残念である。
- ・色々と不満を述べたが、保護者を含め、地域住民の小学校再編に関する意識の希薄化が一番の課題である。
- ・今日のゴールは横田地区として再編について一定の回答を見出すことである。
- ・今後前向きな動き発展する話し合いの場になって欲しい。

☑松田教育長からの発言

- ・現在取り組んでいる学校再編について元々の話をすると、2007年に今後の学校の在り方について諮問委員会を開いたのが最初だと記憶している。
- ・諮問委員会では、全校児童15人以下と複式学級が生じる学校は早急に再編をすべき、との答申が示された。実際に高尾小学校再編の動きがあったが、紆余曲折あり頓挫した。
- ・その後、塔村教育長時代に仁多・横田地区に小学校を1校ずつとする提案がなされた。
- ・当時想定していた仁多地域新小学校建設予定地がレッドゾーン（土砂災害特別警戒区域）に指定されたこと、行政の手順や説明に不備もあり住民から色々ご意見をいただいたこと、様々な要因から協議は一時中断となった。
- ・私が教育長に就任し、当時の自治会長会連合会の席上で各校区の意見とりまとめを依頼した。
- ・小学校区別協議会は途中で年度をまたいだこともあり、うまくいかなかった地区もある。
- ・予定していたタウンミーティングや視察もコロナ禍のため実施ができていないことについては、申し訳なく思っている。
- ・教育に関わってきた一個人としては、一刻も早く子どもたちの教育の場を整備したい。
- ・複式学級は2007年時点で高尾小学校と高田小学校の2校だったが、令和7年度には横田地域に限って言えば、横田小学校を除く3校は複式学級設置が発生する。
- ・全国では複式学級は減少していること、奥出雲町に赴任するほとんどの教員が複式学級での教育経験がない教員が教壇に立つことになる。
- ・奥出雲町に赴任してきて初めて複式学級を受け持つこと教員が生じることが予想される。
- ・そのような中で子ども達にとって最適な教育ができるのか、非常に不安である。
- ・子ども達は将来、奥出雲に居続ける子もいれば、世界で活躍する子もいる。多様な場で活躍するには、幼少期から色々な経験が必要となる。現状のままでは、子ども達の選択肢が狭まってしまう。
- ・少人数学級がいけないという訳ではないが、複式学級には教員にも相当のテクニックが必要となる。
- ・また、今後は教員の教科専門化、ICT教育への対応の他、特別支援学級に対応する必要がある。
- ・何とか令和7年に再編を完了し、1日でも早く子どもたちに集中して最適な学びの場を提供したい。

- ・地域との連携方法等様々な問題があるだろうが、問題解決を図っていききたい。
- ・町・教育委員会からの回答に不十分な回答もあると思うが、意見を戦わせながら今後議論していききたい。
- ・子どもたちのためによりよい教育の場を提供したいという想いを共有して欲しい。

3. 教育委員会からの説明等

☑奥出雲町教育魅力課長谷川課長補佐より補足説明

☑現時点で提示できるものは全て回答しているが、できていない項目もあることを了承いただきたい。

1 ページ 2 項目目 要望等はどの程度聞いていただけるのか

できる限り要望を反映させたいがすべてを示せる状況ではない。

令和4年4月以降再編に同意した校区は新小学校検討部会、地域との繋がり検討部会、跡地利用検討部会を中心に検討を深めたい。

1 ページ 3 項目目 タウンミーティング開催について

再編方針に教育版タウンミーティング開催を明記していた。

コロナ禍で実施ができないまま現在に至っている。

町としては協議会に様々な方が参加いただいていることから、地区の声を拾い切れているという認識であったが、「意見を伝える場がない」という地域住民の意見もあったため、開催を検討している。

令和4年2月20日に教育版タウンミーティング（奥出雲町の教育のこれから）を開催したい。

1 ページ 6 項目目 事務局の事務負担について

今年度は様々な負担をかけてしまい大変申し訳ない。

次年度は各検討部会を中心に進めていきたい。

そのための体制構築を検討している。

協議会の負担はなるべく軽減するように努める。

1 ページ 13 項目目 校舎について

仁多地域については、町で提案した場所については棚上げとなっている。

横田地域は旧横田町の中心地区である横田地区におくことを一貫して説明している。

再編後の学級数について、通常学級が7学級、特別が3学級、合計10学級ができることを想定している。

現横田小学校では教室が1室不足するが、GIGAスクールにより個人へのパソコン配布によりパソコン教室使用頻度が減るため普通教室への改修を検討している。

再編時の生徒数徒数は170名程度になり、平成15年の生徒数と同等となる見込みであるため、特別な改修は検討していない。

2 ページ 8 項目目 コミュニティスクールについて

現段階では採用しない予定。

再編後地域とのつながりがなければ学校運営できないと考えている。

地域の方と検討を重ねる中で結果としてコミュニティスクールが立ち上がる可能性はある。

2 ページ 9 項目目 検討部会について

校歌、校章、教育ビジョン、地域との繋がり等を中心に検討したい。

校舎跡地利用についても検討部会を立ち上げる予定。

2 ページ 12 項目目 統合の前倒しについて

校区の状況（児童数の減少等）を勘案し校区の希望があれば柔軟に対応したい。
4校が同意したから早める、ということは考えていない。
施設の改修スケジュールを勘案すると早期再編は困難である。

3 ページ 1 項目目 中学校の統合について

現時点では検討していない。
小学校再編は 2007 年有識者会議に諮問して答申を受けた経緯がある。
中学校再編も同じ手続きを取る見込みである。

4. 休憩（19 時 50 分～20 時 00 分）

5. 質疑応答

協議会（吾郷）

町担当者が 2 名というのは少ないように感じるがどうか？

教育魅力課長谷川課長補佐

バス運用などは地域づくり推進課と協議を進めるなど、全てを 2 名で担っているという訳ではない。

各校区とのやり取りは手が回っていない部分もあり申し訳ない。
次年度担当者を増員予定である。

協議会（吾郷）

検討部会について、どのような仕組みを検討しているか？

教育魅力課長谷川課長補佐

詳しい構成は未定。

人数が多い場合等負担はどうしても出てくる。

負担軽減は課題として認識しているが具体的な回答は現時点ではない。

協議会（平井）

検討部会は校区ごとか？ 4 地区一緒か？

教育魅力課長谷川課長補佐

現時点では新小学校立ち上げは各校区保護者代表、地域との繋がりには各校区保護者代表と地域住民代表で構成する計画。

奥出雲町役場から担当課担当者の人員も配置する。

跡地利用等は校区別に組織を設置することを検討している。

協議会（大貫）

来年度以降事務局負担軽減をお願いしたい。

令和 7 年まで議論が続くとするため議論が毎年度途切れては困る。

充て職ではなく責任を持ったメンバーを中心に置くべきでありそれに付随して PTA 等の参加が良いのではないかと。

横田地区は年度が変わったことで議論が途切れてしまった経緯がある。

協議会（山根）

通学について通学路や停留所を定めるのは小学校か教育委員会か。

教育魅力課長谷川課長補佐

小学校が権限を持つが、町としても対応ができるよう善処したい。

協議会（山根）

学校が定める場合バス通学等との連携は大丈夫か。

教育魅力課長谷川課長補佐

横田地域に限らず奥出雲交通の路線を基本とする。

不足部分は専用バスで保管する。

路線バスのバス停を使用する以外に旧小学校に集合しそこから乗車する方法も検討する。

路線バスと異なるルートの場合等もある。

学校任せではなく地域の実情に合わせて検討部会を中心に進めていきたい。

協議会（山根）

新築ではなく改修で対応とあるが増築は考えていないか。

教育魅力課長谷川課長補佐

現時点では改修で検討している。

特別支援学級のクラス数変動等が生じた場合増築等も検討する

協議会（山根）

来年度もコロナ禍が続くと思う。

協議会は月に2回開いているがコロナ禍であることが理由で出席できていない人もいると思う。

インターネットを活用した会の開催などを検討していただきたい。

協議会（高橋）

支援が必要な子どもたちについて平成31年度から会計年度任用職員を任用とあるが具体的などのような人材か。単発的な雇用が続くと子どもへの支援にならない。

松田教育長

会計年度任用職員として教員経験（神奈川県で特別支援教育に従事し、校長を勤め退職。島根県でも教員勤務経験あり）のある地元出身者を任用している。

現在2年目で本人の希望で最長5年雇用できる。

保護者との面談による支援や専門化の助言を基に通常学級と特別支援学級の振り分け等を担ってもらっている。

協議会（高橋）

今後の支援対策への展望もあるか。

松田教育長

特別支援や不登校児童への対応は教員免許が必要となる。

遊び支援は免許不要だが指導を要する場合は教職免許が必要。

教員免許所持者を活用していきたいが人材不足が課題である。

教員免許更新制度改革によって状況が変化する可能性がある。

教室に入れないう子どもをどこで支援してくか検討する必要もある。

協議会（高橋）

コミュニティスクールは導入しないとのことだが、仁多郡校長会から教育委員会へ意見出しされていたと聞いた。

仁多・横田2校の校長からしか意見が出ないというのは多様性に欠けるため保護者・地域住民・企業関係者等の意見集約を検討できないか。

また回答書が必要事由は町だけで（内部で）決めますという風に読めてしまう。

行政だけでなく外部から長期的に関わってもらえるような人材確保を要望する。

協議会（大貫）

校区外申請は「現在の運用によって」という記載が多数あるが具体的に教えてほしい。
教育魅力課長谷川課長補佐

奥出雲町は居住住所によって校区を定めている

しかし様々な理由で指定されている校区に通学が難しい場合は規定に沿って教育委員会で審議し受理されれば校区外からの通学も可能となる。

協議会（大貫）

横田幼稚園では既に他地区から通うお子さんもいるため校区外申請に関する質問があった。

協議会（大貫）

統合の前倒しについて例えば鳥上・八川・馬木が令和6年に統合したいとなった場合編入という形になるのか。

令和6年度に八川小学校に複式学級設置が想定される中の対応はどうか。

松田教育長

八川小学校だけでなく他地区でも年度によって複式学級設置と解消が繰り返されている。今年の3月に同意いただいて始めて学級規模が決まるため今の時点では何とも言えない。

全校区が早めるという合意に至れば校舎改築のスケジュール・クラス人数（特別支援学級対象者の有無）等の調整が整えば可能である。

地域住民

我々は保護者の意見を地域に伝えることが責務であると考えている。

保護者の意見にもあったが役場内で検討しますという回答が多く意見は聞くが結論はすでに出ているということになっているように感じる。

議会の同意を得て執行部が決めるというプロセスができてきているのか。

議会の対応に不備がある部分もあるだろうが議会軽視になっていないか気になる。

地域の様々な声を積極的に聞き受け止めるという事例を積み上げていくことが教育を考えていく中で必要不可欠でありそれが事務局の負担を減らすことにも繋がると思う。

地域の声としては「統合は致し方ない」「再編と言われてもうちは子どもがいない」「住民の疑問に行政は明確に答えるべき」といった声を多く聞いてきた。家庭に子どもがいなくても行事で子どもに関わる住民は多数いる。子ども達に関わるヒトたちの声を集約してほしい。

教育に携わる現役教員の意見を吸い上げる場がないことを疑問を感じる。

勝田町長

子どもが学ぶ環境としてはある程度の人数が確保された状態が必要に思う。

横田小学校だけを見ると今後しばらくは規模を維持できるが、鳥上・八川・馬木を見ると大変厳しい。今年度の出生数も40人程度と非常に少なく、子どもたちが同じ環境で育つには再編は不可欠であることにぜひともご理解をいただきたい。

本日は貴重な意見を賜りありがとうございました。

（勝田町長・藤原副町長・松田教育長 退席）

6. 今後の方針について

発言者 大貫副会長

いろいろな想いを持ってお集まりいただいたと考えている。

新型コロナウイルス感染拡大のため、2階に地域住民・奥出雲町議会議員・校長先生に座っていただくことにご理解いただいたことに御礼申し上げます。

コロナ禍ではあるが、協議会以外に保護者3名の出席があったことに御礼申し上げます。

ただ、保護者の出席が非常に少なかったことは大変残念である。

横田地区は再編方針に【 同意 】と回答したい。

理由 保護者アンケートで75%の同意があった（反対意見1件）

協議会の議論で同意しない理由が見当たらない

保護者への不安払拭のためにも同意の意志を表明したい

議論を先延ばしすることに意義は感じられない

然るべき対応を取った後、奥出雲町に対して正式に回答を提示する。

方針に対する審議

保護者 【 異議なし 】

地域住民 【 異議なし 】

この議決内容を2月上旬に保護者へ通知し、2月下旬に回覧等で地域住民へ通知する。

この場にお集まりいただいた皆様には来年度以降も議論に積極的な参加をお願いしたい。

7. 閉会

☑閉会挨拶